

「何があっても“生きる”」

～孤立・貧困・自死の連鎖を断つ～

日本の年間自殺者数は2012年、ようやく1997年以来15年ぶりに3万人を下回ったものの、自殺率（人口10万あたりの自殺者数）で見れば、あいかわらずロシア・東ヨーロッパなど旧共産圏の国々と並んで世界でもっとも自殺の多い国になっています。

そこで、この講座ではどうしたら、その予防が可能なのかを皆さんと一緒に考えていきたいと思えます。

★日時 **1/31(土)** 午後1時30分～4時30分

★場所 ベルブホール (永山公民館5階)

★内容 1部 ビデオ上映 (52分)
「SAVING 10,000 Winning a War on Suicide in Japan」
2部 講演会
玄 秀盛 氏(公益社団法人日本駆け込み寺代表)

講師プロフィール

☆玄 秀盛(げん ひでもり)



様々な職種を経て経営者となったが、2000年に白血病ウイルスへの感染が判明。死を意識する中で残りの人生を“人助け”に捧げる決意を固める。新宿歌舞伎町を中心に、DV、暴力、ストーカー等、2万件以上の相談を受ける。2011年渡辺謙主演で放映された「愛・命～新宿歌舞伎町駆け込み寺～」のテレビドラマのモデルとなった。

上映ビデオについて

自殺との戦いにおいて、「敵」はいったい誰なのか。映画『Saving 10,000 - 自殺者1万人を救う戦い』は、日本の高い自殺率の真の原因究明に挑む一人のアイランド人の物語である。

(HP 作品紹介より)

★申込方法 電話又はFAXで 1月5日(月)午前9時～
氏名・住所(地区まで)・連絡先・年代を明記してください。

★定員 150人(申込先着順) <FAXの方は裏面申込書参照>

主催 多摩市立永山公民館 電話 042-337-6661 FAX 042-337-6003

共催 多摩市健康福祉部福祉総務課